

学校教育目標

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成

【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

心豊かにたくましく生きる子どもの育成

めざす児童像

- よく聞いて、はっきり話す子
- 関心をもってよく考える子
- 思いやりの心をもって助け合う子
- 心と体を鍛えるたくましい子
- 地域のよさを知り、愛する子

【中学校区研究主題】

協働的に学ぶ児童・生徒の育成

【研究主題】

わかる・できる楽しさを味わえる
授業づくり
～タブレット端末の活用を通して～

めざす子どもの姿「主体的に学びに向かう子」

重点項目：わかる授業づくり（ICTの効果的な利用を通して）

「学習のめあて」「学習活動」「学習の振り返り」をつなぐ

- 課題の設定方法を工夫した授業
 - 話し合いをしたくなるような課題をつくる。
 - 児童の生活に即した課題をつくる。
 - 児童と一緒に課題を考える。
- 自分の考えをもつための時間の保障
 - 課題に対する自分なりの考えを、児童一人一人がもてるよう時間をとる。
 - タブレット端末等を利用して視覚的な情報を補うなど、個に応じた支援を行う。
- 学びを確かなものにする振り返り
 - 「めあて」や「学習活動」に対応した「振り返り」を書き込むノートづくりをする。

- ・授業がよくわかる児童（100%）
- ・授業に主体的に取り組んでいる児童（97%）

「児童と児童」「児童と教師」の対話的な学びをつなぐ

- 考えの共有と比較・参考
 - ホワイトボードソフトやコミュニケーションソフトを使用して考えを共有する。
 - 友だちの考えと比較したり、友だちの考えを参考にしたりして考察する。
- 学んだことのアウトプットと相互評価
 - 作品を写真や動画で撮影する。
 - 学習成果をワープロでテキストにしたり、絵にかいたりして表現する。
 - コミュニケーションソフトを使って、学習成果をクラスや全校に発信する。
 - 公開された情報に対してコメントを返し、評価し合う。
- 自主学習ノートの供覧と相互評価
 - 自主学習ノートを見せ合う時間を設ける。
 - 友だちのノートのよいところや真似したいところを付箋に書いて評価し合う。

- ・自分の考えを進んで発表している児童（97%）
- ・友だちとの交流を通して、自分の考えを深めることができていく児童（90%）

心づくり・体づくり

健やかな体と心をつなぐ

- 凡事徹底、当たり前なことを当たり前に行えるようにする。
- 一人一人のよさを認め合う温かな学級づくりをする。
- 自他を大切にする心を育む道徳の授業を実践する。
- 夢や希望を育む教育を推進する。
- 楽しい体育の実践と外遊びを推奨する。

- ・学校が楽しいと感じる児童（100%）
- ・明るく元気にあいさつができる児童（90%）
- ・友だちとふれあい仲よく楽しく活動している児童（90%）
- ・将来の夢やめざす目標をもっている児童（97%）

家庭・地域や中学校区との連携

地域と学校をつなぐ

- 地域人材と自然環境を生かした体験活動を実施する。
- 園小連携、小小連携、小中連携を推進する。
- 開かれた学校に心がけ、積極的に情報を発信する。

- ・郷土を大切にしたいと感じる児童（90%）
- ・教育活動の公開がなされていると感じる保護者（90%）
- ・気軽に学校に相談できると感じる保護者（90%）

【業務改善のための取組】

・会議等の時間の縮減（1時間30分以内） ・ライフワークバランスを考慮した就労時間（超勤月45H未満） ・繁忙期における業務推進日の積極的設定 ・机上、教室の整理整頓